



## ヒノキ100%の畳床

消費者の健康志向の向上は著しく特に食料品ではオーガニック食品を求め消費者がプレミアム価格を出しても手に入れたいと人気の市場やWEBサイトで購入する実態があります。

この購入者層も食料品では確実に広がっており、住宅でもこのような健康志向をもった消費者が存在します。この消費者層が今後拡大していくかは経済的な状況もあり厳しいとも思うのですが、現状を示す一例としてネット検索数では「健康住宅」は「耐震住宅」と同程度の検索数結果(Google)です。

この健康住宅素材の一つとして100%ヒノキで作られた畳床があります。ヒノキチップを圧縮して作られた床は害虫はもちろん様々な健康効果をもたらしてくれる素材です。

お値段が高いのがネックですが、これも健康のためとプレミアム価格が定着すればいいのですが。



## 施工現場より

watch the construction site



銀行のイス張替えを行わせていただきました。

従来は紫色のレザーだったのですが女性社員の方々のご意見から明るいオレンジ色のレザーへと張り替えさせて頂きました。

大きなスペースをとるソファもあるので空間全体が明るい雰囲気となり好評です。



What is the city?

## 都市思慮

鳥津良樹

### 「渋谷という街——街歩きの極意——」

今までいろんな街を歩いたが、いつかはその街から去ることになった。住みもせず友達も作らず、居酒屋や安宿で呑んだくれただけで街がわかるものかという旅行者メンタリテイの不完全燃焼が毎度残った。しかしひとつだけ私が歩き尽した街があるとするれば、それは東京・渋谷である。今回からしばらく渋谷の話題を続けたいがその前に、まず、私の街歩きの掟をお披露目しましょう。

街から直接得たのはお宝一次情報、新聞雑誌からは二次的補完情報。考現学的には「神は『街』に宿り給う」が街を歩く時の私のおまじないである。

歩きのトレーニングを始める。その途中で次の発見があったらシメタものである。なんかへんな見慣れないものがあるぞとか、ウソっぽいけどホンモノなんだよこれとか、なんの役に立つんだか判らないけどオモシロイ、不思議なものの発見とか。

②〈写生〉見たものの写生をする眼差しで街を観察しよう。カメラで写すだけでは記録であって観察ではないし、同じ街の朝・昼・夜から思わぬ発見がある。街歩きはTVのチャンネルを切り替えるように処々方々の視線スケッチと心得る。

③〈テーマ〉少しずつ街観察の対象を絞る。若者のファッション追いかけばかりではなく、今日は子どもだけの観察とか、おばあちゃんに的を絞るとか。街歩きの都度々にテーマを広げていく。

④〈上方十補助線〉街は立体的にできているから時々上を向いて歩こう。1階や地階はお店でも上階には別のテナントが入っていることも多い。逆に、高いところから街を見下ろすのもいい。ビルや道路や広告塔の相互関係がわかるし、街空間理解の固有の補助線に気がつくかもしれない。

⑤〈街の緊張と弛緩〉街並みにも気持ちの入りっているところと抜いたところがあることに気付こう。街での犯罪はどちらも多い、を想像するのも面白い。

やがて、あなただけの街歩きインデックスができる。そうすると、あなたが観察する街があなたを招いていることが判ってきて、街に宿る神に出会うことになるはずだ。

しまづ・よしき / 都市アナリスト。  
京都大学に学び西山卯三に師事。東急総合研究所取締役地域開発研究部長・顧問を経て、立教大学大学院教授。08年よりS&Associatesを主宰。